

年間授業計画

教科:(地理歴史)科目:(日本史A) 対象:(第1学年機械科1組～設備工業科) 2単位 教科書:高校日本史A新訂版(実教出版)

教科担当者:竹内昆(機械科1組:㊟)(機械科2組:㊟)(電気科:㊟)(建築科:㊟)(設備工業科:㊟)

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	科目日本史Aの具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	時予 数定
4 月	<p>[近代の萌芽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米列強のアジア進出 ・江戸後期の日本 <p>[開国から幕府の滅亡] 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開国と日米修好通商条約の締結 ・開国後の政治経済 ・尊皇攘夷派と公武合体派の対立 <p>※感染症の措置により、授業を行うことができないため、自宅学習課題等で対応する</p>	<p>[近代の萌芽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米で資本主義経済を特質とする近代国家が成立し、植民地を求めてアジアに進出したことを知る。 ・日本の近代化の基盤にマニュファクチュアの発展や新しい思想や学問の登場、寺子屋などの教育機関の発達があったことを知る。 <p>[開国から幕府の滅亡] 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカからの開国要求を契機に、江戸幕府が開国し、日米修好通商条約の締結によって、日本が欧米の貿易市場として開かれたことを知る。また、その内容が不平等な条約であったことを知る。 ・開国後の政治情勢の中で尊皇攘夷派と公武合体派の対立があったことを知る。 <p>※感染症の措置により、授業を行うことができないため、自宅学習課題等で対応する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近代国家の特色と和親条約や修好通商条約の内容を理解できたか。 ・開国後の政治や経済の混乱を理解できたか。 	6
5 月	<p>[開国から幕府の滅亡] 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攘夷運動の挫折と倒幕運動 ・明治維新 <p>[明治初期の諸改革]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治新政府の諸改革 ・文明開化 	<p>[開国から幕府の滅亡] 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攘夷運動の挫折から尊皇倒幕の流れになっていったことを知る。 ・大政奉還から戊辰戦争終結までの流れを知る。 <p>[明治初期の諸改革]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治新政府により、富国強兵、殖産興業政策の下で、廃藩置県、封建的身分制度の廃止、学制や徴兵令、地租改正などの諸改革が実施されたことを知る。 ・欧米文化が導入され、人々の生活が変化していったことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攘夷から倒幕の転換について理解できたか。 ・大政奉還から戊辰戦争までの流れを理解できたか。 ・明治新政府の中央集権的諸改革の意義と民衆の反応について理解できたか。 	8
6 月	<p>[明治初期の外交]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期のアジア外交 <p>[自由民権運動の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不平士族の反乱 ・自由民権運動 <p>[立憲体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法の制定 ・諸法典の制定 	<p>[明治初期の外交]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清国と日清修好条規、朝鮮とは日朝修好条規が結ばれ、ロシアや清国などと国境の画定が進められていったことを知る。 <p>[自由民権運動の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藩閥政府に対する不満と不平士族の反乱が、自由民権運動につながっていったことを知る。 ・士族から豪農層、貧農へと政治的関心が高まったことを知る。 <p>[立憲体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法の制定により、立憲体制が整えられ、その後諸法典が整備されたことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治初期のアジア外交について理解できたか。 ・自由民権運動の流れと大日本帝国憲法との関係が理解できたか。 	8
7 月	<p>[条約改正]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不平等条約改正 <p>[日清・日露戦争と国際関係] 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日清戦争と三国干渉 	<p>[条約改正]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治政府が欧米諸国との不平等条約改正を主要な外交課題として取り組んでいたことを知る。 <p>[日清・日露戦争と国際関係] 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日清戦争に至った経緯と結果について知る。 ・三国干渉によって日本とロシアの対立が激しくなったことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条約改正の経過を理解できたか。 ・日清戦争に至った経緯と結果について理解できたか。 	4

	指導内容 【年間授業計画】	科目日本史Aの具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	時予 数定
9月	<p>[日清・日露戦争と国際関係] 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・列強の中国分割 ・日露戦争と朝鮮の植民地化 <p>[政党政治の展開] 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次護憲運動 ・デモクラシー思想 <p>[産業革命と資本主義]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の産業革命 	<p>[日清・日露戦争と国際関係] 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日清戦争後、列強の中国分割が進んだことを知る。 ・日露戦争に至った経緯と結果について知る。 ・日清・日露戦争を通じて日本は国際的地位を高め、韓国併合を行うなど東アジアでの勢力を拡大させたことを知る。 <p>[政党政治の展開] 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次護憲運動について知る。 ・日露戦争後から昭和初期にかけて、「大正デモクラシー」という風潮の中で様々な思想が浸透したことを知る。 <p>[産業革命と資本主義]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の産業革命は、紡績業や製糸業を中心とする軽工業から始まり、日清・日露戦争を経て重工業の発展につながることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争に至った経緯と結果について理解できたか。 ・日清、日露戦争が日本に与えた影響と朝鮮の植民地化の流れを理解できたか。 ・大正デモクラシーの意味を理解できたか。 ・日本の産業革命の進展について理解できたか。 	8
10月	<p>[国民生活の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市化と市民文化 <p>[第一次世界大戦と日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と日本 ・第一次世界大戦後の世界 <p>[政党政治の展開] 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会運動の増加 ・第二次護憲運動と政党内閣 	<p>[国民生活の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業化の進展など、産業構造の変化により農村から都市へ人口移動が起きたことを知る。 <p>[第一次世界大戦と日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦において、日本が連合国として参戦し、主に中国における利権を得て国際的な立場を強めようとしたことを知る。 ・パリ講和会議とワシントン会議及び協調外交について知る。五・四運動、三・一独立運動について知る。 ・大戦景気と社会・産業構造の変化について知る。 <p>[政党政治の展開] 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原敬内閣の成立により、本格的な政党内閣が組織されたことを知る。 ・第一次世界大戦を経て労働争議や小作争議など社会運動が増加したことを知る。 ・第二次護憲運動を経て、加藤高朗内閣のもとで普通選挙法、治安維持法が成立したことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治から大正、昭和初期にかけての国民生活の変化について理解できたか。 ・第一次世界大戦と日本の関係を理解できたか。 ・憲政の常道や普通選挙が戦前に成立していたことを理解できたか。 	8
11月	<p>[戦間期の国内外の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恐慌の連続 ・ファシズムの台頭 ・満州事変 	<p>[戦間期の国内外の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で続けて恐慌が発生し、経済状況が悪化する中で、国民生活が厳しさを増して社会不安が増大したことを知る。 ・世界恐慌によって資本主義諸国が経済危機を強めたことを知る。 ・国家主義思想の影響や軍部の台頭によって、五・一五事件や二・二六事件などが起こったことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・恐慌が連続して起きる中で軍部が台頭していった流れを理解できたか。 ・満州事変が起こった国内・国外の背景を理解できたか。 	6
12月	<p>[第二次世界大戦と日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中戦争 ・日米関係の悪化 ・太平洋戦争 	<p>[第二次世界大戦と日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中戦争が長期化する中で、国内では大政翼賛会が発足して全体主義的な国家体制が構築されていったことを知る ・日独伊三国同盟の締結から日米の対立関係、太平洋戦争へと拡大していくことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日中戦争から日独伊三国同盟、太平洋戦争へと拡大していく流れを理解できたか。 ・太平洋戦争中の国民生活や終戦までの流れを理解できたか。 	4

	指導内容 【年間授業計画】	科目日本史Aの具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	時予 数定
1 月	<p>[我が国の再出発]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の敗戦 五大改革指令 日本国憲法と民主教育 戦後改革の転換 	<p>[我が国の再出発]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦敗戦後、日本がアメリカ軍を中心とした連合国軍の占領下に置かれていたことや、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）が日本の非軍事化と民主化を目的に間接統治したことを知る。 戦後、我が国の民主化を推進するために、連合国軍最高司令官総司令部が行った五大改革の概要を知る。 日本国憲法について、大日本帝国憲法との大きな違いを踏まえて、特に三大原理について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の日本統治の仕組みと非軍事化、民主化の諸政策を理解できたか。 アメリカの日本占領政策の推移を世界情勢の変化と関連付けて理解できたか。 日本国憲法について、戦前の憲法との違いを理解できたか。 	6
2 月	<p>[冷戦の開始と講和]</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷戦の始まり 朝鮮戦争 サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約 <p>[政治や対外関係の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> 55年体制 独立後の外交政策 	<p>[冷戦の開始と講和]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「冷たい戦争」（冷戦）が始まったことを知る。 東アジア情勢の変化の中でアメリカの対日占領政策が変化したこと、朝鮮戦争が日本の政治・経済に大きな影響を与えたことを知る。 サンフランシスコ平和条約により日本が独立を回復したことや、同条約調印と同日に、日米安全保障条約が調印されたことを知る。 琉球諸島、小笠原諸島、奄美諸島は、サンフランシスコ平和条約締結後もアメリカの施政権下に置かれたことを知る。 <p>[政治や対外関係の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> 保革対立の下での保守一党優位の政治体制（55年体制）が約40年続いたことを知る。 日ソ共同宣言、国際連合加盟、日韓基本条約、沖縄返還、日中国交回復などを事例として、我が国の独立後の外交政策について知る。 冷戦の終結後、国際社会から我が国に求められるようになった国際貢献の具体的な内容について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の独立がどのように達成されたか理解できたか。 安保体制の問題点と国民の動きを理解できたか。 戦後の国内政治の流れ外交政策について理解できたか。 	8
3 月	<p>[経済の発展と国民生活の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度経済成長と石油危機 四大公害訴訟 安定成長の時代 貿易摩擦とバブル経済 	<p>[経済の発展と国民生活の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国が戦後の経済復興を成し遂げ、高度経済成長、石油危機を経て世界有数の経済大国となったことについて知る。 高度経済成長の過程において、社会構造や家族の形態が変化したことや、公害などの社会問題が発生したことを知る。 二度の石油危機を経て、高度経済成長が終焉し、日本経済が安定成長の時代に入ったことについて知る。 貿易摩擦や世界経済の変化の中で、プラザ合意後バブル経済がおきた経緯やその後の日本経済について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦後経済の回復、発展について理解できたか。 	4